

## 第7分科会 第1会場

「民医連職員と共同組織が  
いっしょにすすめるとりくみ」

第一セントラルビル1号館 5F A会議室

演題番号 7-1-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岐阜	医療法人 岐阜勤労者医療協会 本部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ハヤカワ クニヒロ 早川 國弘	組織部 課長	第7分科会

発表テーマ
共同組織（岐阜健康友の会）と取り組んだ地域訪問行動の結果と今後の課題

内容（発言要旨）

「共同組織とともにやる地域訪問は、職員が地域での事業所の役割を確信できる学びの場」（第45期全日本民医連第3回評議員会文書）。昨年度から取り組んだ、地域訪問行動の結果（寄せられたご意見や参加者の感想など）と今後の課題について紹介します。訪問行動の概要は、合計653件の友の会会員宅を、55人、延117人（職員96人、共同組織21人）で実施。対面は350件、54%。訪問行動のねらいとポイントは、以下の5点でした。①2か月に一度・年間6回、機関紙の手配りと日頃の友の会活動へのご協力に対して感謝の気持ちを伝える機会。②「困り事アンケート」（2021年10月実施）の結果概要をお伝えし、みどり病院・友の会・行政へのご意見を聞かせていただく機会。③新みどり病院の建設基金や民医連が取り組んでいる全国署名と、すでにご協力を頂いている方には、お知り合いの方に広げて頂くことをお願いする機会。④10月行動の13日間は、「みどり健康まつり」を紹介する機会。⑤配布物は、困りごとアンケート結果概要、新病院・友の会案内、介護ウェブ・看護アクション・保険証なくさないで署名、看護師等求人募集、「健康まつり」チラシなど。

今後の課題 訪問行動は、私たち職員と共同組織に「どんな医療と介護が求められているのか」「なんのために、誰のために」働くのか、友の会活動をするのかを体験するよい機会です。「機関紙」手配り会員（2024年3月現在3374人）宅に、1年かけて1回以上、対面訪問しましょう！

所属している組織の概要	
今回の訪問活動地域は、岐阜県岐阜市（みどり病院周辺地域：芥見東、芥見南、芥見、岩、藍川）、人口は約2万5千人・11,700世帯。共同組織（岐阜健康友の会）の人数は3,150人。	
TEL 058-244-3522	メール k-hayakawa@gifu-min.gr.jp

演題番号 7-1-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
京都	京都東健康友の会洛北ブロック 洛北健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
マツモト ジュンコ 松本 淳子	副会長	第7分科会

発表テーマ
職員ととりくむ地域訪問活動

内容（発言要旨）

2024年4月法人内の4つの共同組織が1つに統合されました。これを機に今までの洛北診療所友の会から洛北健康友の会に名称変更をしました。診療所の枠内に収まるのではなく、診療所の冠を外して洛北地域全体を視野に入れ、地域の健康作りに積極的に関わっていくためです。コロナ禍で地域訪問ができていませんでしたが、まずは会員の方々の生の声を聞くことからスタートしようと、職員と共に地域訪問行動を開始しました。聞こえてくるのは、バス路線変更による生活支障、エアコン故障による熱中症不安、エレベーターが無いためデイサービスに通えない生活環境問題、診療所への苦情や要望など。地域の困ったを少しでも解決できるよう取り組んでいます。

所属している組織の概要	
活動地域は京都市左京区の北部。1中学校区・4小学校区に跨り、人口は約35,000人と広域。共同組織の人数は約1,050人。	
TEL 080-3132-2593	メール jijjunko-matsu@ezweb.ne.jp

演題番号 7-1-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
鳥根	ひかわ医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
フカツ 深津 孝雄、 ヤマダ 山田 美信	伊波野支部 支部長 出西支部 支部長	第7分科会

発表テーマ
地域と職員で取り組んだ「まめなか訪問」を振り返って

内容（発言要旨）

3年前より、地域の運営委員と職員とで、夏の暑いときは熱中症予防訪問、生協強化月間には、「まめなか訪問」の地域訪問に取り組んでいます。

「まめなか」とは、出雲地方の方言で「元気ですか?」という意味があります。

地域では高齢化がすすみ、空き家も増えてきています。コロナの影響もあり、昔からのお茶事も出来ず、ご近所での交流も減って、案じていても尋ねにくい状態でした。職員との訪問によって、「生協です」「まめなかね」「お困りごとはないですか」と見守る訪問のきっかけとなりました。

困りごとは無いのが一番ですが、言えないこともあるかもしれません。毎年声をかけることで、困ったときに相談できる生協になりたいと継続しています。

職員は、時間に追われていますが、訪問時間への配慮や、心得など、地域からの進言があり、地域マナーを取入れて取り組んできました。

所属している組織の概要	
ひかわ医療生活協同組合は、鳥根県東部の田園地帯にあります。人口は約3万人、高齢化率は29%です。組合員数は8337人。当法人は来年で50周年を迎えます。医療療養病棟120床と外来、居宅介護支援事業所や訪問看護など、11の介護事業サービスに取り組み、地域の健康づくりとまちづくりに取り組んでいます。	
TEL 0853-72-4577	メール chikatu@hikawa-hp.com

演題番号 7-1-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	八王子・たま健康友の会 八王子西部支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ナカムラ 中村 良平	八王子西部支部副支部長	第7分科会

発表テーマ
「職員と力をあわせ発展した20年余の地域活動」

内容（発言要旨）

①2001年介護保険の実施にあたり「介護保険って何だろう」八診職員に聞いてみようと学習会、同時に個人宅で始めた食事が大好評で、地域の市民センターで川口班お食事会としてスタート。2020年まで192回まで開催、突然の新型コロナ禍で3年間中断。2023年5月より食事なしで再開、今年3月に200回を迎える。②川口班食事会の運営は7～8人、講師は民医連関係が圧倒的に多く協力してくれた。診療所、歯科、薬局、健生会、介護法人からなど、90回職員が講師を務める。他に地域包括支援センター、福祉施設、郷土史研究家、市民団体、菓子店、電気店など地域との共同も広がる。③この間の主な出来事 2009年NPO法人かっちゃんの家開設とその後社会福祉法人認可。2014年友の会八王子支部から独立し八王子西部支部の発足。当初402人から520人の支部へ、発足時には全会員訪問、「いつでも元気」3ポスト38部から、7ポスト60部へ。「健康のひろば」手配り率は96%。支部センター「ほっとホット川口」を開設。農業クラブやハイキング、カラオケなどのサークル、憲法9条の会、自然を守る会などにも関わる。健康チェックや地域のコミュニティセンターまつりの参加など職員とともに地域に根付いた活動をしています。

所属している組織の概要	
東京都八王子市に3つの支部があり、その一つ八王子西部支部の会員数は、520人。川口班の主な活動地域は2町、人口は15000人	
TEL 090-4954-7251	メール hachi-tama@t-kenseikai.jp

演題番号 7-1-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	東京保健生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
カトリ ミエコ 香取 三恵子	さくら通り支部 支部長	第7分科会

発表テーマ
ゆたかなつながりをはぐくむフードバンク

内容（発言要旨）

コロナ禍をきっかけに、3年間生活に困窮する人々への食料支援に取り組んできました。この3年間で約3,500人に食料を配布しました。開催情報が困った人へ届くよう、組合員のネットワーク、大泉生協病院、公的機関で告知しました。現在予約制ですが、緊急対応も行っています。スタッフは医療生協の組合員が協力し、のべ50名以上が参加しました。スタッフにより地域の農家やパン屋、社会福祉協議会、購買生協ともつながりました。また、今まで支部活動だけだった組合員が班会に参加したり、機関紙の配達に協力する人も増えました。また大泉生協病院との新たな協同も始まり、フードバンク開催時に院内社保委員会が中心となり、医師や看護師等が健康チェックを行っています。フードバンクの参加者は食料をもらうだけでなく健康相談や生活相談もでき、支援するスタッフも参加することで地域とつながる機会にもなり、お互いに有意義な活動になっています。

所属している組織の概要	
東京保健生活協同組合の概要(2024年3月31日時点) 組合員数：45,470人 出資金総額：19億円 協議会数：6（文京区・練馬区・豊島区・新宿区・台東区・中央区） 班会数：156班 開催数：3,346回	
TEL 090-2735-3993	メール m.katori.312@gmail.com

演題番号 7-1-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
三重	みえ医療福祉生協	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
フルノ シンペイ 古野 真平	組合員活動部	第7分科会

発表テーマ
うふふ交流会—職員が組合活動に触れ、組合員さんが事業活動に触れる、楽しみながら互いを知る取り組み—

内容（発言要旨）

コロナ感染症で人の交流が制限されるようになり4年ほどが経過しました。その間、職員が班会などの組合員活動に参加できず、互いの顔や活動を知る機会が絶たれてしまいました。特にコロナ感染症の流行後に入職した職員は共同組織の事業所に入ったということを実感する機会が失われていました。4年という月日は長く職員、組合員さん共に人の入れ替わりも少なくありませんでした。この課題に対して共同組織、班会運営の中核となる組合員さん共に問題意識を持っていました。そこで2024年3月に「職員と組合員が楽しみながらお互いの取り組みを知る」をテーマにしたイベント企画「うふふ交流会」を開催しました。コロナ感染症流行後初の大規模な職員と組合員さんの交流会の様子をお伝えします。

所属している組織の概要	
活動地域は、三重県四日市市。活動地域の人口は約30万人。四日市地域の組合員数は約4500人。組合員数は全県で約38,000人	
TEL 059-330-0808	メール y-kumikatu@y-medico.com

演題番号 7-1-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
山梨	甲府健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ハイマツ 生松 みち子	幹事・事務局長	第7分科会

発表テーマ
コロナ禍に負けない友の会活動を追求して…… 職員とともに取り組んだ仲間ふやし月間、目標を達成した経験

内容（発言要旨）

甲府健康友の会では死亡や施設入所などで入会者数より退会者数が2倍の速度で増え続け、10年間で2,000人の会員が減っています。コロナ禍でも食料支援や相談会、野外での体操教室と活動をしてきましたが、最初の4年間は会員を増やせませんでした。2023年度の仲間ふやし月間は目標を115世帯に設定し、スタート集会では4支部ごと会員と職員が交流する時間を初めて設け、自己紹介や地域の課題を話し合い意思統一を行いました。10～12月の月間中は毎朝診療所の待合いで職員と会員がチームを組み患者さん一人ひとりと対話して友の会の周知活動した結果、十数年ぶりに月間目標クリアの118世帯増（前年度は47世帯）となり、月間後も毎月17日を「いな友の会の日」として診療所での周知活動は続け、昨年度は年間272世帯増となる大快挙となりました。職員とともに友の会の良さを伝え続けて会員を増やしてきた経験を報告します。

所属している組織の概要	
活動地域は、山梨県甲府市。活動地域の人口は約18万人(世帯約93,000)。所属する組織は約6,200世帯。甲府共立病院等民医連事業所と共に「安心して住み続けられるまちづくり」を目指し活動しています。	
TEL 005-221-8725	メール 11-soshikik@s.yamanashi-min.jp

演題番号 7-1-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
沖縄	沖縄協同病院	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
タマシロ 玉城 ヨシヤ 義也	医局事務課・課長	第7分科会

発表テーマ
沖縄協同病院 組織活動委員会の活動報告

内容（発言要旨）

【2023年度の委員会の目的】

コロナ禍3年を経て、組合員さんとのかわりを持つ機会がないまま、組織活動を知らない職員が増えてきている現状。毎月の委員会には、毎月違う職員が参加してくるので、班会活動、組合員増やしや増資の取組、まちかど健康チェック、健康まつり、などを説明し意見交換を行った。多くの職員が参加することによって、医療生協・民医連を知らない職員が一人でも減ることを目指した。

【活動内容】

1. 医療生協について学ぶ・・・組合員さんと一緒に作る病院である。いままでの歴史を知る。
2. 医療生協の活動内容を学ぶ・・・健康まつり、まちかど健康チェック、強化月間。
3. 強化月間へのとりくみ・・・生協コーナー飾りつけ、ポスター周知など。
4. 班会について学ぶ・・・班会に参加し、体験する。

【今後の活動】

1. 楽しい組織活動委員会を開催したい。
2. 職員が班会の講師をしたり、班会に参加できる時間を増やしていきたい。
3. 組合員増やし、出資金増やしの新しい取り組み方法を考え、職員 全員 参加の活動にしていきたい。

所属している組織の概要	
沖縄県、那覇市、沖縄協同病院内で活動。委員会は12名くらい。事務局4名。	
TEL 098-853-1200	メール okikyo08@crocus.ocn.ne.jp

演題番号 7-1-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岐阜	高齢者施設をつくる会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ホリ 堀 セイコウ 誓光	会長	第7分科会

発表テーマ
高齢者施設をつくる会の25年間のあゆみと活動報告

内容（発言要旨）

高齢者施設をつくる会は、「みどり福祉会とともに、高齢者が安心して住み続けられるまちづくりをめざし施設建設と各施設の充実、及び活動を支援する。」と言う目的のもと、設立された組織です。現在2つの施設を有し、いずれの施設も、署名や寄付の盛大な活動の末、住民自らの手で設立され、岐阜県下では、「唯一無二」他にない施設です。

つくる会の年間の主な取り組みは、①6月総会 ②毎月事務局会 ③役員会（みどり福祉会からの報告とつくる会の議題の検討） ④事業所をきれいにする活動（植栽）ア.各施設の草抜き剪定 イ.鉢植え ウ.大掃除 ⑤会員と楽しむ（新年会、お楽しみ会） ⑥地域とともに（映画会、お祭り、健康祭り） ⑦通信（あんきの風）や署名、会費案内などを会員郵送（5月・9月・12月）が主な活動です。

今回は、地域住民との繋がりを求める活動として、⑥映画会の取り組み：H16年から23年、④植栽の取り組みを重点に報告します。これらの活動を通して会員の拡大を図り、施設が地域住民を守り、また地域住民に守られる施設になるよう取り組んでいます。

所属している組織の概要	
1999年6月5日発足し、今年度で25年目 会員数は1,400名 高齢者施設をつくる会事務所は、岐阜県岐阜市北山1-15-25 現在長森地区にあんきの家細畑、北山地区にケアハウスささゆりの介護施設の建設に貢献してきた。	
TEL 058-244-1200	メール ankinoie@jupiter.ocn.ne.jp

演題番号 7-1-10

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
福岡	北九州健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
アカシ シゲノブ 明石 成喜	小倉西支部・支部長	第7分科会

発表テーマ
北九州市道路サポーターに登録して

内容（発言要旨）

北九州市がおこなっている「北九州市道路サポーター制度」に、北九州健康友の会小倉西支部が手を挙げ2022年11月15日認可されました。

わたしたちが登録をすすめたきっかけは、2022年6月の大手町病院利用委員会で、職員や友の会会員さんが、病院周辺で、ごみ回収や花壇の手入れをしていることについて話題になったことです。

活動は病院前にある「市が設置した道路わきの花壇」の手入れで、2023年1月からはじまりました。先ず、花壇の手入れとして肥料などを土に馴染ませ、2週間後には春花のパンジーやなでしこの花苗450株を花壇一面に植えました。6月には、メランポジウム600株を植えました。夏には日差しを避け早朝や日が暮れてから毎日水を撒きましたが、酷暑のせいか一部が枯れてしまうという苦い経験もしましたが花壇一面咲きました。12月にはビオラやキンギョソウ、ノースポールなど600株を植えました。花壇の手入れ時に、近所の子ども連れ親子と会話になり、冬花の植栽を一緒にするようお誘いをし、当日は知り合いの親子も参加するなどいろんな世代のみなさんで取り組みました。

今後は、もっと多くの人たちに関りを持ってもらいたい、花の手入れをとおして環境を守ることの大切さが実感できる活動にしていくことが小さな目標です。

所属している組織の概要	
主な活動地域は、福岡県北九州市小倉北区の西部地域。活動地域の人口は約10万人。所属する共同組織の世帯数は約1万世帯。	
TEL 090-4586-4021	メール iwamoto@kenwakai.gr.jp